

VERIFICATION STATEMENT OF GREENHOUSE GAS ASSERTIONS

Statement No.: SS004-2021-GHG-KOB-DNV

Page 1 of 2
initiate reporting of

Kawasaki Kisen Supply Chain Greenhouse Gas Inventory Report (2020)

<検証の範囲>

DNV ビジネス・アシュアランス・ジャパン株式会社は川崎汽船株式会社より「2020 年サプライチェーン 排出量算定報告書」(以下「GHG 報告書」と称す)に関して以下の範囲の第三者検証を依頼された:

川崎汽船株式会社 GHG 排出量: Scope 1, 2, 3 (Category 1, 2, 3, 5, 6, 7, 13, 15)

<算定検証基準と GHG プログラム>

温室効果ガスの特定・計算・監視・報告の基準は ISO14064-1:2006 及び川崎汽船サプライチェーン 排出量算定手順書である。また検証の基準は ISO 14064-3:2006 である。

<検証声明>

DNV の限定的保証水準に基づく意見として、川崎汽船株式会社の 2020 年 GHG 報告書(2021 年 4 月 26 日付)における GHG 算定の主張に関して、同社の GHG 排出量を適正に反映していないことを表す誤りは認められなかった。

<検証プロセスと方法論>

上記検証基準への適合性は GHG 報告書、関連する文書記録類及び提供された十分な証拠のレビュー、要員へのインタビューによって確認された。

The verification has been performed under
supervision of:

Independent Validation Verification Body:
DNV Business Assurance Japan K.K.



Akira Sekine, GHG Verifier
27th April 2021



Naoki Maeda, Management Representative
27th April 2021

VERIFICATION STATEMENT OF GREENHOUSE GAS ASSERTIONS

Statement No.: SS004-2021-GHG-KOB-DNV

Page 2 of 2

<温室効果ガス排出量の算定>

2020年度 GHG 排出量算定報告書の対象期間は 2020年1月1日より2020年12月31日である。DNVの検証意見として当報告書の温室効果ガスの算定は、現実性・透明性・測定可能性のあるものである。

<組織境界>

支配力基準 出資比率基準

ただし、Scope 3 Category 15については出資比率基準とする。

<検証された温室効果ガス>

CO₂ CH₄ N₂O HFCs PFCs SF₆ NF₃

<検証された排出量>

合計直接排出 (Scope 1)		9,202,613 tCO₂e
エネルギー由来の間接排出 (Scope 2: Market-based)		21,780 tCO₂e
エネルギー由来の間接排出 (Scope 2: Location-based)		25,191 tCO₂e
その他の排出 (Scope 3)		1,219,525 tCO₂e
Category 1	購入した物品・サービス	25,987 tCO ₂ e
Category 2	資本財	33,547 tCO ₂ e
Category 3	燃料及びエネルギー関連活動	560,889 tCO ₂ e
Category 5	事業から出る廃棄物	2,040 tCO ₂ e
Category 6	出張	791 tCO ₂ e
Category 7	雇用者の通勤	2,865 tCO ₂ e
Category 13	リース資産 (下流)	1,841 tCO ₂ e
Category 15	投資	591,565 tCO ₂ e

上記排出量はすべて検証済みである。

<検証意見>

無限定適正

限定適正

意見差し控え

DNVは、本検証業務に限らずグループレベルで川崎汽船株式会社と財務上の関連性がないことを表明する。